

もっと！ もち米プロジェクト

※
75

毎月10日は
「名寄もち米の日」



名寄市はもち米生産日本一のまちです。もち米を市民の皆さまの誇りとし、子どもたちが自慢できるふるさとづくりを進めるために「もっと！もち米プロジェクト」を実施しています。

問い合わせ
名寄市食のモデル地域実行協議会
(経済部農業経営担当・風連庁舎1階)
☎01655③2511 (内線2312)
ホームページ
<http://nayoro-mochigome.com/>

14代目なよろもち大使が決定！ 白熱！もちつきチャンピオン決定戦！

8月28日(日)になよろ産業まつりにて、もちつきチャンピオン決定戦を開催しました。審査中に雨が降るハプニングもありましたが、出場した4チームのパワーあふれるもちつきにより、会場は大いに盛り上がりました！

審査の結果、「13代目もち大使」チームが見事優勝！引き続き「14代目もち大使」として活躍いただきます。みなさん応援よろしくお祈りします☆



14代目もち大使
やんべ ともひこ
山家智彦さん
たかほし かな
高橋華菜さん



餅つき初心者なのにもち大使になりたい2人組がいるらしいんですよ～



#なよるの夏のオモイデ

COLUMN*

VOL.61

なよろっぽい家づくりの会*

再生可能エネルギー⑥

再生可能エネルギーについて、以前から数回にわたり掲載してきましたが、今回で最後です。

人間はエネルギーが無ければ生きていけない動物です。人間社会を形成し生活するためには、化石燃料を燃やし電気を作る、ガソリンを使用し動力を作るなど、エネルギーを消費する設備や道具をたくさん造っては、膨大にエネルギーを使用します。そしてその分だけ二酸化炭素(CO2)が発生し、環境破壊へと繋がるのです。CO2は地球の大気にまわりつき、太陽から受けた熱を宇宙に放出しにくくさせ、結果、地球温暖化に発展します。温暖化が進むにつれ、気温上昇や異常気象の発生、農作物の生産減少など深刻な問題が山積みの中、今何をすべきか？何が出来るか？を考えたとき、省エネでも十分暮らせるような住まいを調える工夫、自然エネルギーの活用、これが大事だと思います。

現在では、太陽光発電システムを導入し、足りない電力を電力会社より補充といった住宅が多いようです。屋根に太陽光パネルを設置しているのを見るようになり、かなり普及してきた感があります。太陽光システムは、太陽の熱エネルギーを利用する装置・設備全般の事をいい、一般的に発電する

ものが有名ですが、蓄熱し給湯・暖房、または空気循環するなど自然環境任せの仕組みのものもあります。これらは太陽光が差す時間で熱水を作っては地下水槽に溜めておきます。少しずつ放熱する事で安定した暖房ができ、同時に、水道配管に組み込むことで給湯ができます。その他に利点として、結露の防止・アトピー性皮膚炎・ぜんそくなどの原因となるカビ・ダニ発生を抑制し、快適な生活環境を保つこともできます。しかし欠点として、この名寄市の地域において日照時間が少ないため稼働日数が少なかったり、住宅の規模によっては予備の暖房・給湯の設備が必要だったりします。

結論、エネルギー無しでは生きていけない中で、いろいろとメリット・デメリットがあるものの、再生可能エネルギーを取り入れられれば、省エネやエコロジーにつながり地球環境の保全となる一方、家庭における生活費の削減にもつながります。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711